

社会科授業が楽しくなる！
デジタル地図活用のすすめ

デジタル地図帳で変わる社会科授業 5年「わたしたちの生活と環境 (森林のはたらき)」を例に

東京都小学校教諭

1 「やりたかったこと」を実現してくれる デジタル地図帳

社会科の生命線ともいえる「資料提示」。「こんな風に提示できたら、きっとおもしろいはず…」とイメージはわくものの、実際に準備をするとなると時間的余裕がなかったり、技術的に難しかったり、のりこえなければならぬハードルがいくつもある。そんな経験を皆さんも一度はしたことがあるのではないのでしょうか。そんな教師の悩みを解決する一助となるのがデジタル地図帳です。デジタル地図帳がもつさまざまな機能は、これまで実現が難しかった資料提示を可能にし、資料準備等の大幅な効率化をはかることができます。今回は、デジタル地図帳の機能の活用方法について、5年「わたしたちの生活と環境（森林のはたらき）」の実践を例に紹介していきます。

2 シンプルだけど便利「見せたい地図」を 「見せたい大きさで提示」

「森林のはたらき」の学習では、単元のはじめに地図資料を活用して国土の地形のようすを概観する活動がよく行われます。その際、できるだけ大きく地図を提示したいものですが、紙の地図では限界があり、拡大印刷するにも手間が大変。そんな場面こそ、デジタルの強みが活かされます。デジタル地図帳のよさは、「見せたい地図」を「見せたい大きさで提示」できること。画面いっぱいに提示した地図をみんなで見ながら、気づいたことをペンやふせんで地図上に書き込んでいく、デジタル地図帳はそんな授業を手軽に実現してくれます。



画面いっぱいに提示された日本地図

3 「レイヤー切替機能」で「見せたい情報」を「見せたいタイミングで提示」

国土全体の地形を確認した後は、児童が生活する都道府県のような見せたいところ。しかも、できれば土地の高低や河川のような「地形」に関連した情報だけにしぼって提示がしたい。そんな教師の思いに応えてくれるのが「レイヤー切替機能」です。「レイヤー切替機能」は、「見せたい情報」を「見せたいタイミングで提示」できるすぐれもの。土地の高低や河川の流れなど、地図上に示したい情報を教師が選択し、ねらいに沿った資料提示を可能とします。この「レイヤー切替機能」は、47都道府県すべての地図に対応しています。



レイヤー切替機能で見せたい情報だけを提示

4 「2画面表示機能」で二つの地図を 簡単比較

この単元では、国土には豊かな森林資源があることをとらえさせるために、さまざまな地域に分布する人工林や天然林を紹介します。そうしたときに便利なのが「2画面表示機能」です。「2画面表示機能」を用いることで、複数の地図を同時

に画面上に提示することが可能になり、例えば、児童が生活する地域と事例地の地図の比較も簡単にできます。また、東京都のように東西で地形が大きく異なる場合には、2画面表示によって同じ都道府県の二つの地域を同時に提示するのもよいでしょう。複数の地図を比較しながら読み取ることによって、地域による違いや共通点に気づかせることができます。



2画面表示で白神山地と東京都を並べて提示

5 世界遺産の美しさを「マイリンク機能」でワンクリック表示

「森林のはたらき」の単元のなかで、ぜひとも取りあげたいのが、白神山地など日本を代表する美しい天然林です。そして、できれば、画像等を用いてその美しさ、荘厳さをとらえさせたいところです。これまでは、写真を提示する場合は、教師が事前に印刷した資料を提示したり、資料集や教科書で確認したりすることが一般的でした。デジタル地図帳の場合は、「マイリンク機能」を活用することで簡単に画像等を提示することができます。この「マイリンク機能」が従来の方法と比べてすぐれているのは、事前の資料準備の手間が軽減されることや授業の流れを切らすことなく資料提示ができる点です。地図上にピンを置いておき、このピンをクリックすれば設定したリンク先の情報、例えば白神山地の画像を自動的に提示することができます。事前の準備は、あらかじめフォルダ内に画像を保存しておくか、リンク先を指定し、地図上にピンを置くだけです。実際の授業では、地図上に貼りつけたピンを好きなタイミング

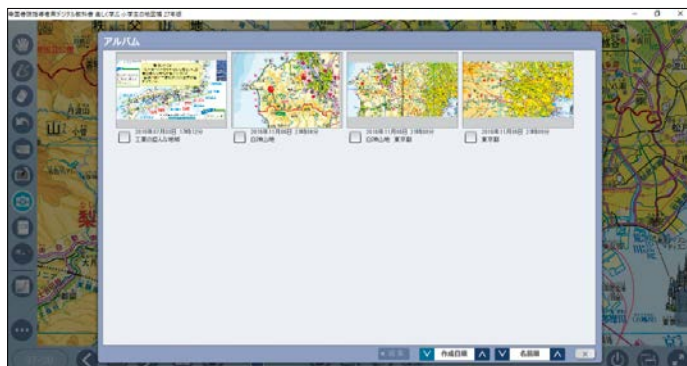


ピンをクリックして白神山地の写真を提示

でクリックでき、地図を読み取る活動を途中で中断させることなく、スムーズな資料提示を可能とします。

6 「スクリーンショット機能」で地図上に書き込んだ内容やふせんも簡単保存

「森林のはたらき」のように、地図を多用する単元では、前の時間に読み取った地図を次の時間でも再び提示するといったことが多くあります。とくにデジタル地図帳は、ペンやふせん機能を用いて地図上に自由に書き込みをすることができるため、書き込んだ内容も含めて再提示したいと考える教師は多いはずですが。そんなときに活用したいのが「スクリーンショット機能」です。コメントや貼りつけたふせんも含めて再現することで、児童はスムーズに前回の学習内容を想起することができるでしょう。



書き込みをした地図はアルバムに保存